

福島からはじまる未来。F-REIが世界を変える

F-REI事業概要

2026年 2 月

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation



福島国際研究教育機構（F-REI）は、
令和5年4月に法律に基づき設立された新しい法人。

福島だからこそできる、
課題解決に向けたインパクトある研究開発にチャレンジし、
イノベーションと地域の産業を生み出していく。

次世代を担う人材を育て、未来を担う基盤をつくっていく。

福島から世界へ、グッドプラクティスを日本・世界の成長に繋げていく。

福島からはじまる未来
F-REI が世界を変える

F-REI

福島国際研究教育機構

福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる **「創造的復興の中核拠点」** を目指す

R7年度予算額：165億円（研究費 104億円）

福島の復興を通して優位性を発揮できる5つの分野で研究開発を推進

- ① ロボット
- ② 農林水産業
- ③ エネルギー
- ④ 放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用
- ⑤ 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信

研究開発

産業化

人材育成

司令塔

F-REI本部と施設予定地



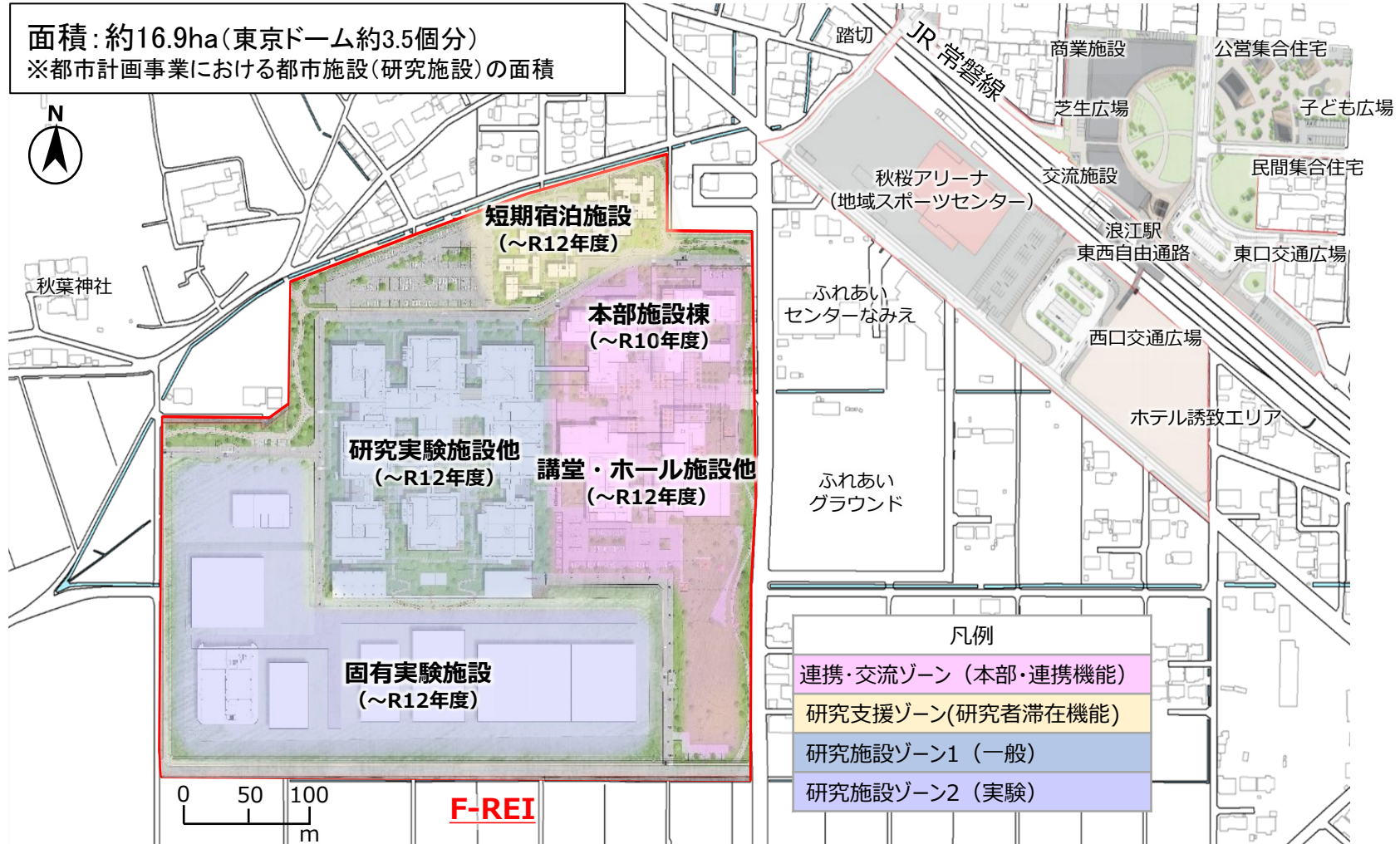
仮事務所増設
研究開発推進部を配置



浪江町施設「ふれあいセンターなみえ」の一部を借用。役員等や総務部を配置

F-REI本施設の整備

本部施設をはじめ連携・交流機能をまち側（東側）に、研究施設を中央～南側へ配置



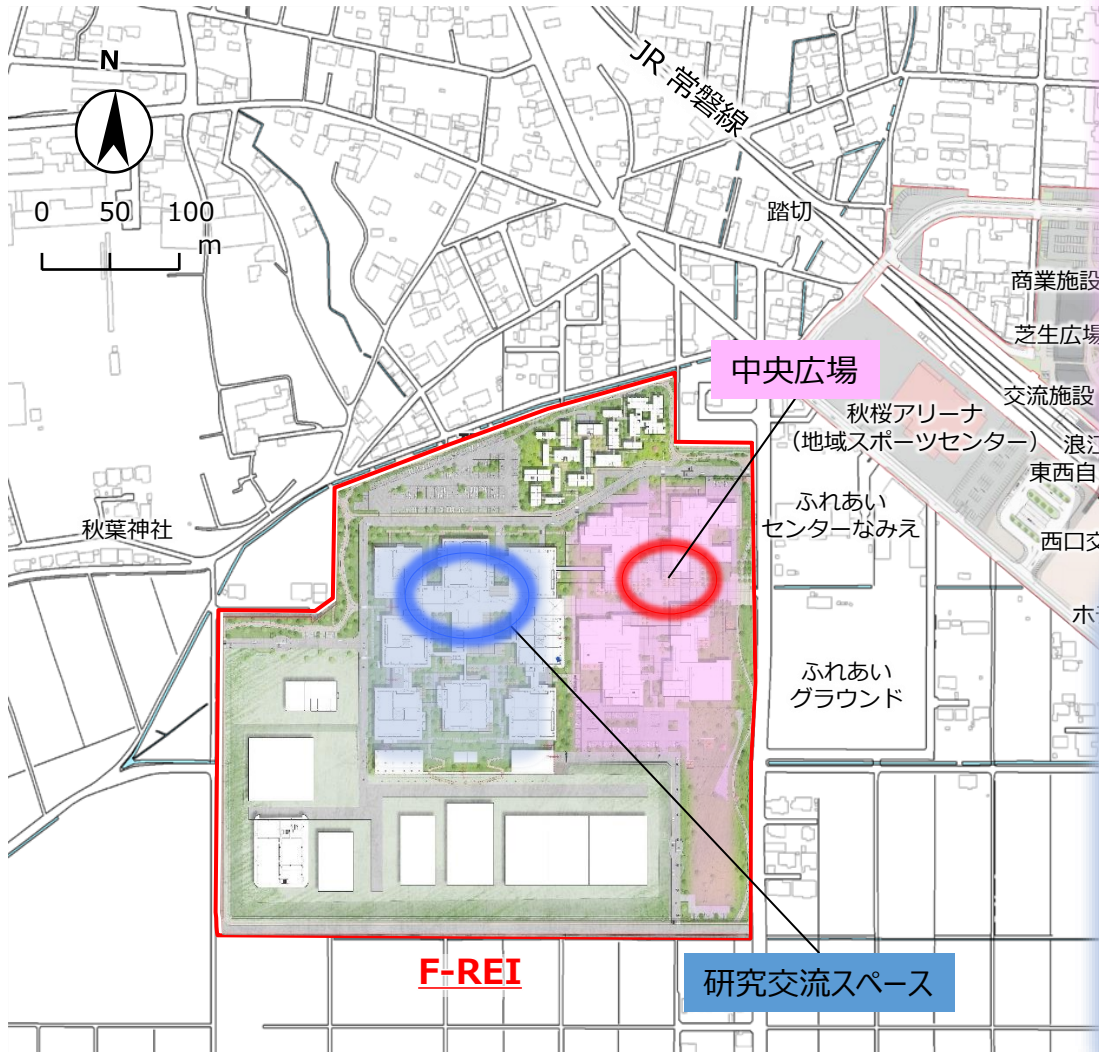
地図出典：国土地理院

浪江駅周辺整備計画部分出典：浪江駅周辺整備事業の平面図（令和5年2月3日区域変更）を加工

整備イメージは日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体より提供

※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

開かれたF-REI ～交流・連携の機会創出～



F-REIを訪れる人々の交流



- ・中央広場
- ・カフェ・食堂
- ・保育所
- ・店舗
- ・講堂・ホール
- ・イベントスペース

研究者や企業・大学等の交流



- ・研究交流スペース（日常的な交流を促進）
- ・産学連携交流スペース（企業等との共同研究）

F-REI本施設（整備イメージ）



■地域（福島）の課題解決、価値創造に集中

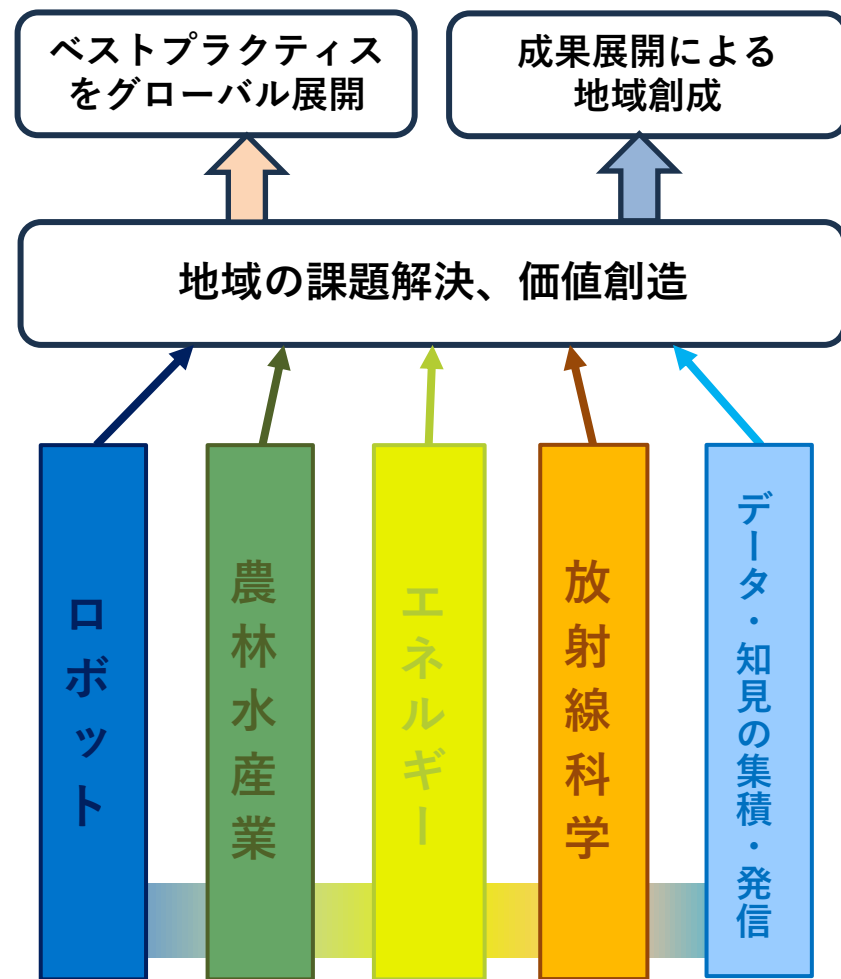
- 5つの異なる分野が連携した総合的取組
- 地域連携を推進する司令塔機能
- 地元の実証フィールドの積極活用

■イノベーションを積極的に促進

- 研究開発と産業化を両輪とした機構運営
- 地元生産者、地元企業と連携した研究推進
- ベストプラクティスをグローバルに積極展開

■研究成果の地域実装による地域創成への貢献

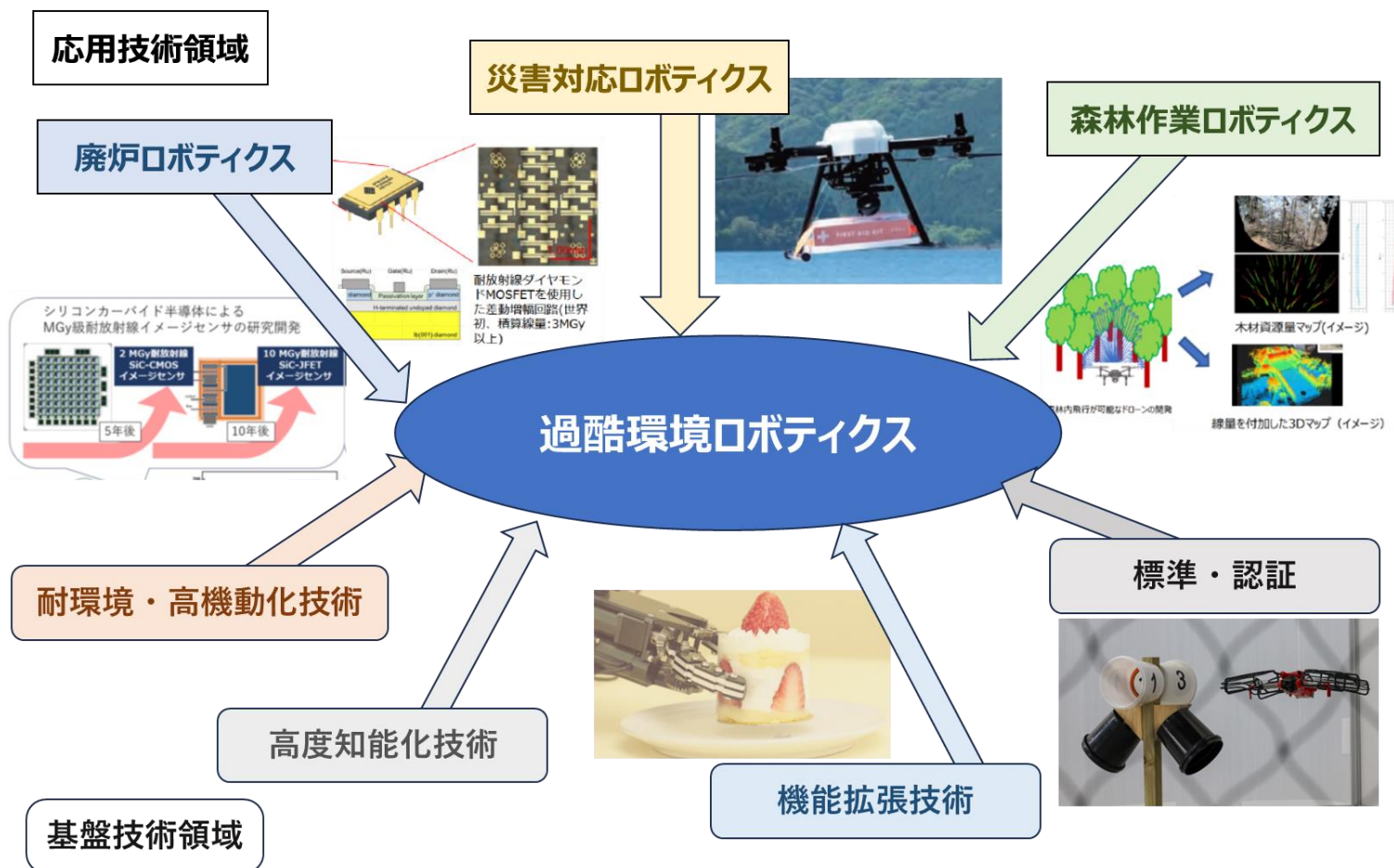
- 自然科学と社会科学を融合した取組
- 市民対話の促進



5つの異なる分野の連携

Science, Engineering, Design, Artの連環

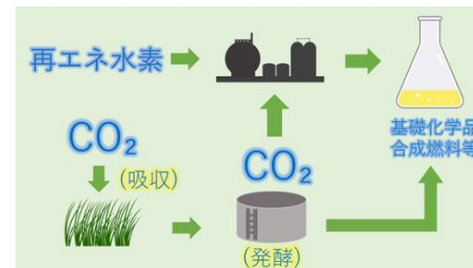
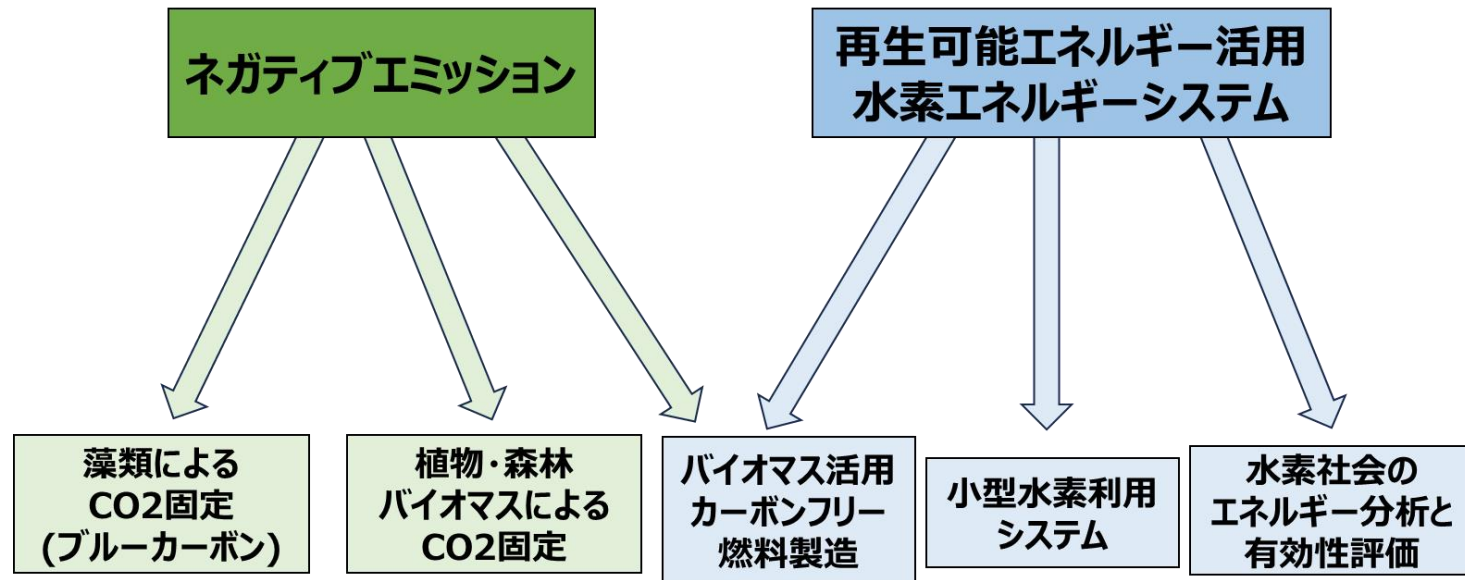
- 耐放射線性、耐水性、耐熱性などを備えた**高機動性**を有するロボットの開発、**自律制御**、**群制御**などを実現するための**知能研究**、生物がもつ感覚機能などを高める**機能拡張研究**などを行う。
- それらの成果を活用して、廃炉や災害時、宇宙空間などの過酷環境下で稼働できる**高機動性ロボット**の開発、高ペイロードで長時間飛行が可能な**高機能ドローン**の開発、**自律移動型ロボット**の開発などを推進する。



- 農林漁業作業の完全自動化・ロボット化・スマート化などによる超省力化・超効率化と、森林資源の有効活用などにより**多収益・大規模モデル確立**によって地域循環型経済モデルの構築を目指す。
- 一方で、RIトレーサー活用による**品種改良、有機栽培、土壌改良**に関する基礎研究を推進する。



- 福島を日本のカーボンニュートラル先駆けの地とするために、**再生可能エネルギー**を中心に、**エネルギー製造、貯蔵、輸送、利用**に関わる研究開発を行い、そのなかで社会実装を目指しての**リスク評価、法規制、技術基準の策定**なども課題とする。
- **水素・アンモニア**などを使ったエネルギー活用、**CO₂回収**やエネルギー源としての利用などに関する研究を推進する。
- 再生可能エネルギーの活用をベースとすることでカーボンニュートラル、さらには**ネガティブエミッション**が実現可能なことを実証し、その展開によりサステナブルな社会の実現に貢献する。

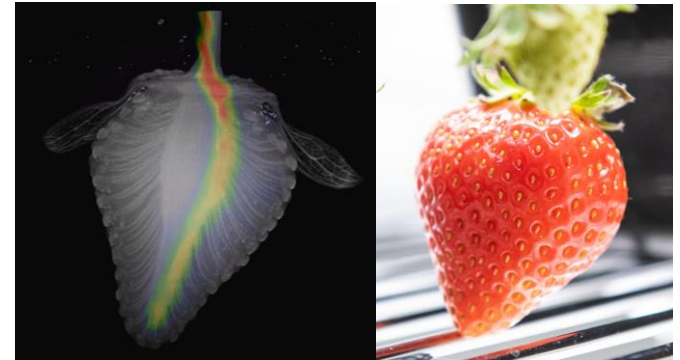
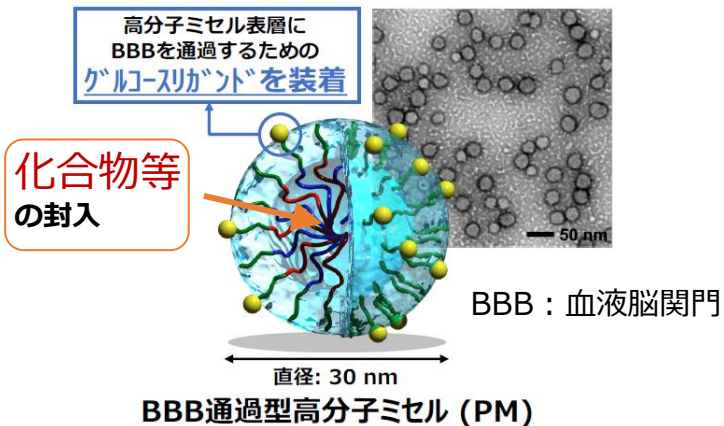


- ウェル・ビーイングへの貢献を目指して、**放射線利用**に関する基礎研究に加えて、**医療**のみならず農業、工業分野での**産業利用**を見据えた技術開発を推進する。
- 医療分野では放射線トレーサを利用した**診断技術の開発**や、放射線標識化合物による**がん標的薬の開発**、農業および工業分野では放射線を利用した**計測科学研究**と技術開発を推進する。

ビーム照射

RI製造

品質標準化



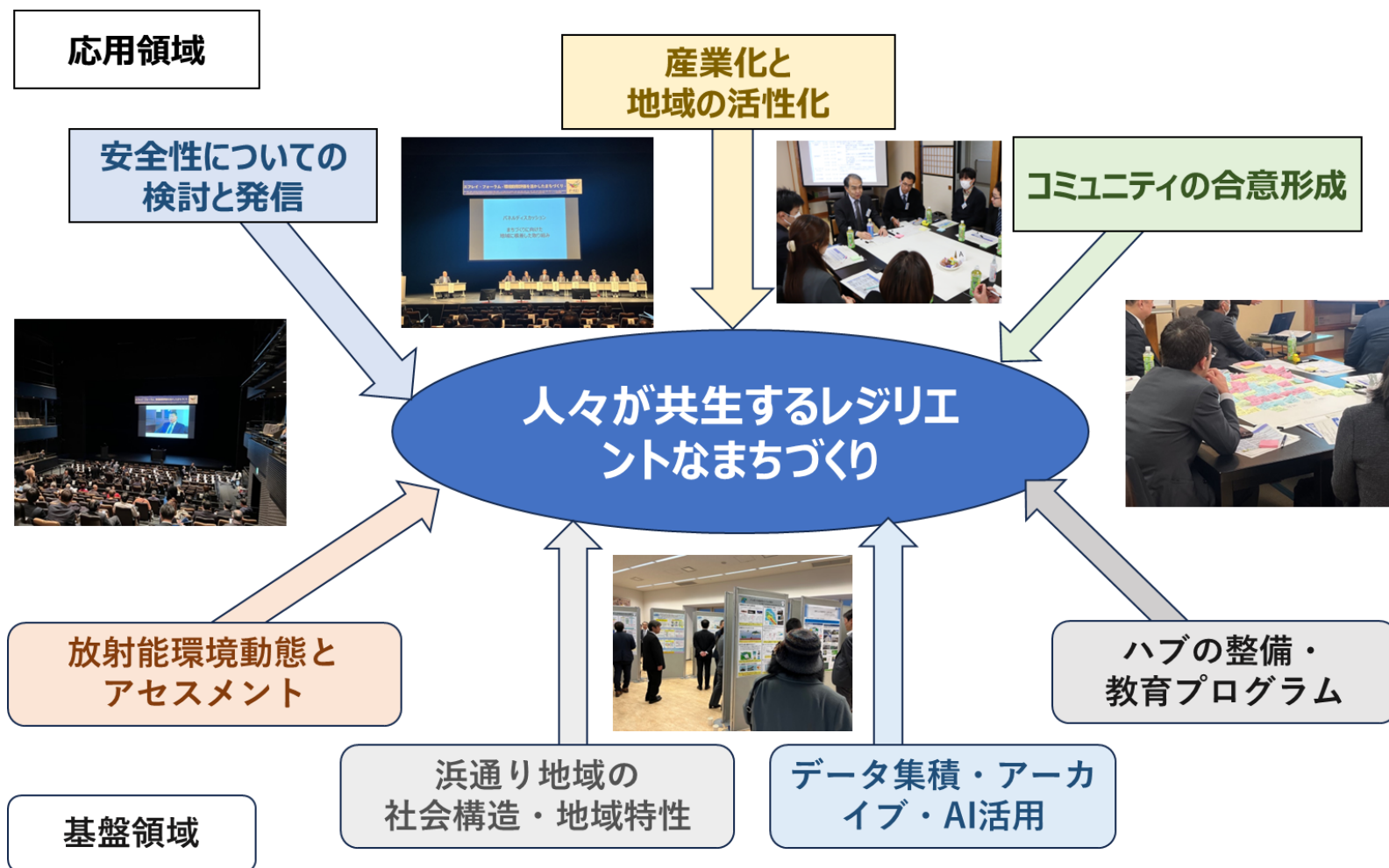
医療

がん等の診断薬・治療薬

農業

農作物の高付加価値化・生産性向上

- 原子力災害の被災地において**自然環境や地域社会について調査と分析**を行い、地域の安全性を高めるための**科学的知見の蓄積と発信**を行う。
- あわせてF-REIの研究成果を活かして、地域の活性化とコミュニティの合意形成を推進することで、**人々が共生するレジリエントなまちづくり**に貢献する。





F-REI

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute
for Research, Education
and Innovation